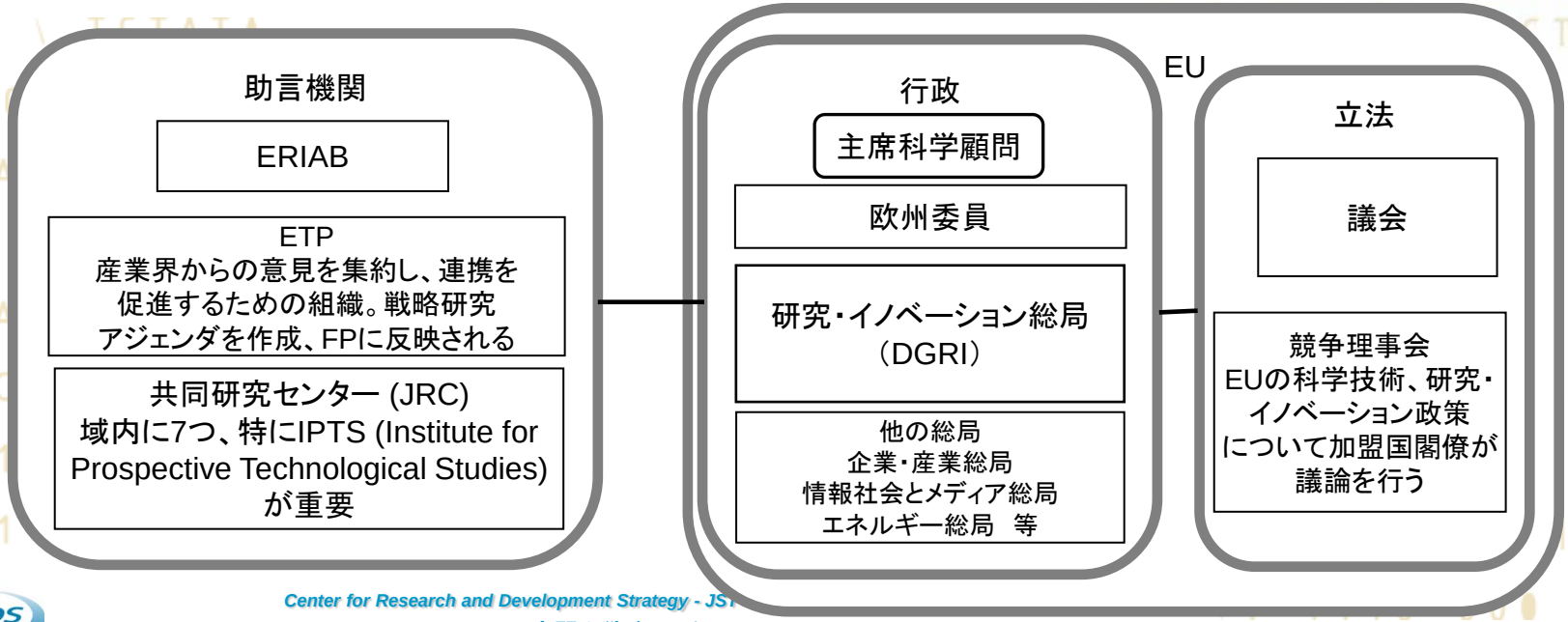
EUの科学技術政策の背景

- 第二次大戦後の欧州の科学技術政策
  - 米国との科学技術分野での競争の激化
  - 1952年のCERN（欧州合同原子核研究機関）の設立が代表的な動き
  - 1959年に共同研究センター（Joint Research Centre）の設立（当初は原子力中心）→徐々に他分野の研究も推進

- 1984年以降：FP（Framework Programme）の開始
  - 競争力強化、優れた知を育む事、資源のプール、グローバリゼーションへの対応、欧州研究領域を作り上げる事への寄与等を目的
  - FP1（1984～87）からFP7（2007～13）の間に予算は8倍以上（年間70億€強）に
  - 最新のFP7では、基礎と実用化段階の中間領域の研究を主に助成

EUの科学技術行政体制

- 科学技術政策は主に**研究・イノベーション担当委員**（モーラ・ゲイガン=クイン、国の大臣に相当）と、**研究・イノベーション総局(DGRI)** が様々な助言機関と共同で策定
- DGRIはEU全体の経済、社会に関する目標の「欧州2020」に含まれる研究開発関連の目標、戦略である**「イノベーションユニオン」**や各分野別の戦略を作成
- 分野（エネルギー、環境、ICTなど）によってはそれぞれ担当の総局が担当
- 具体的な資金の配分は**フレームワークプログラム**（FP)及び結束基金（Cohesion Fund)、構造基金(Structural Fund)などの地域支援策を通じて行われる
- 重要な助言機関として**ERIAB**(European Research and Innovation Area Board) があり、重要なプログラム策定などに際して意見・報告を提出する。科学技術の専門的知識が必要な助言はDGRI傘下の共同研究センター（JRC)が行う
- その他、一般、産業界や学界からの意見を反映させるため、欧州技術プラットフォーム(ETP)、共同技術イニシアティブ(JTI)、ERAC (European Research Area Committee)などの組織がある
- 2011年12月に主席科学顧問としてスコットランド出身の大学教授アン・グローバー氏（生物学）が任命され、科学的根拠に基づいた政策決定の助言を行っている。主席科学顧問は既存の助言機関や総局などと連携して業務を進めることとされている。助言は直接欧州委員会委員長のホセ・マニュエル・バローゾ氏に対して行われる。



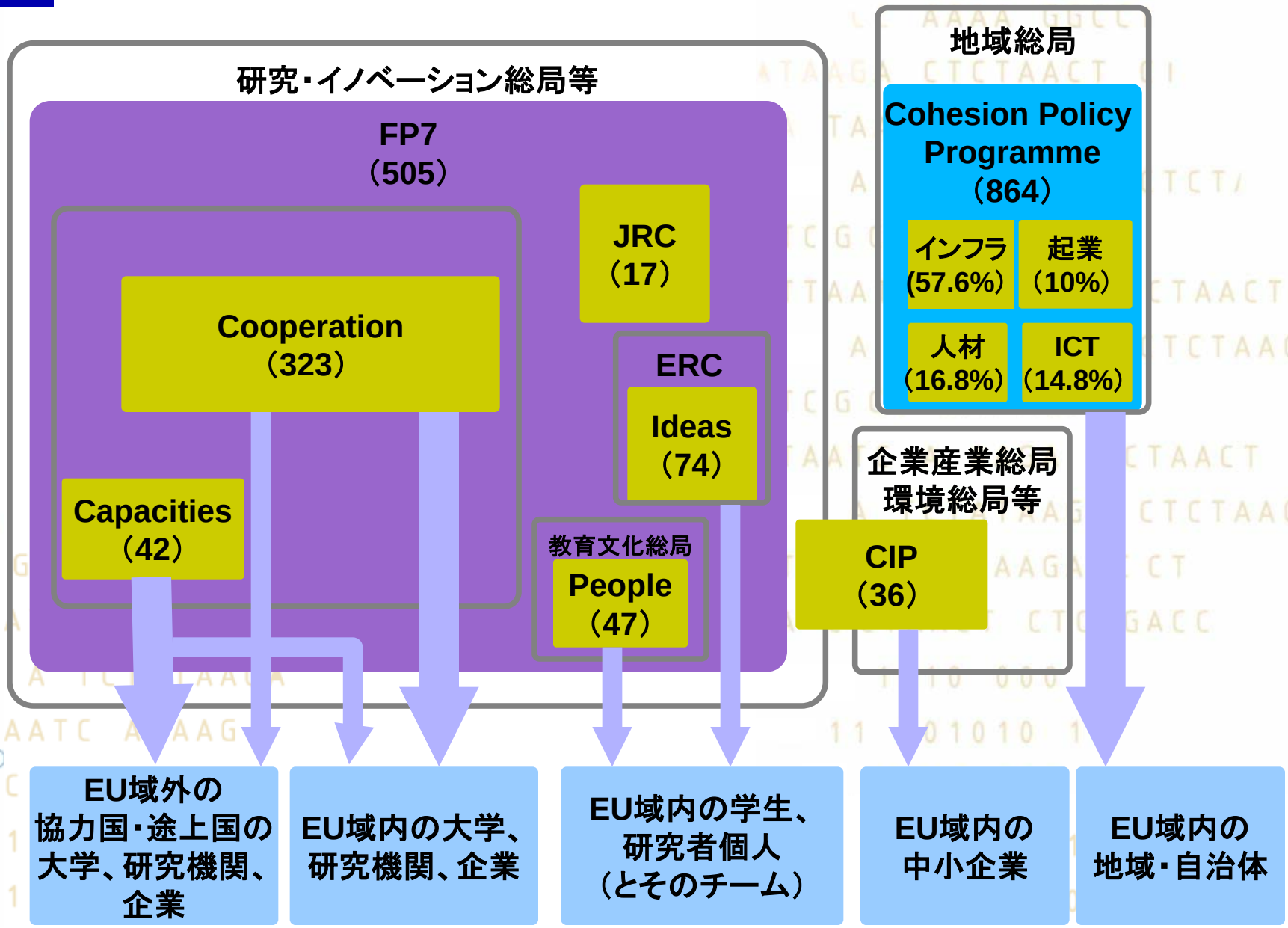
ERIAB(European Research and Innovation Area Board)

- 2012年9月、前身のERABに代わりERIABの立ち上げられた。
- ERABと同様、重要なプログラム策定などに際して意見・報告を提出。
- ただし、**イノベーション・ユニオン（Innovation Union）**に対する助言も行う点が、前身のERABとは異なる。
- メンバーは以下の11人である。

議長: Prof. Luc SOETE, Rector of Maastricht University

- **Dr. Barbara HAERING**, Co-Chair-Chief Executive of econcept Inc., Zürich, Switzerland, Swiss-Female
- **Prof. Hans-Jörg BULLINGER**, President Co-Chair-Fraunhofer Gesellschaft, München, Germany, German-Male
- **Ms. Manuela ARATA**, TT Manager at CNR and President of the Science Festival, Rome, Italy, Italian-Female
- **Prof. Genevieve BERGER**, Chief Research and Development Officer at Unilever, London, UK, French-Female
- **Prof. Anna CZLONKOWSKA**, Professor at 2nd Department of Neurology, Institute of Psychiatry and Neurology, Warsaw, Poland, Polish-Female
- **Ms. Anne GLOVER**, Chief Executive of Amadeus Capital Partners Ltd. London, UK, British-Female
- **Dr. Peter HEFFERNAN**, Chief Executive of Marine Institute, Galway, Ireland, Irish- Male
- **Prof. Toivo MAIMETS**, Professor of Cell Biology and Director, Institute of Molecular and Cell Biology, University of Tartu, Estonia, Estonia-Male
- **Dr. Jan-Eric SUNDGREN**, Executive Vice President Public & Environmental Affairs at Volvo Group Headquarters, Göteborg, Sweden, Swedish-Male
- **Prof. John WOOD**, Secretary General, Association of Commonwealth Universities, London, UK, British-Male

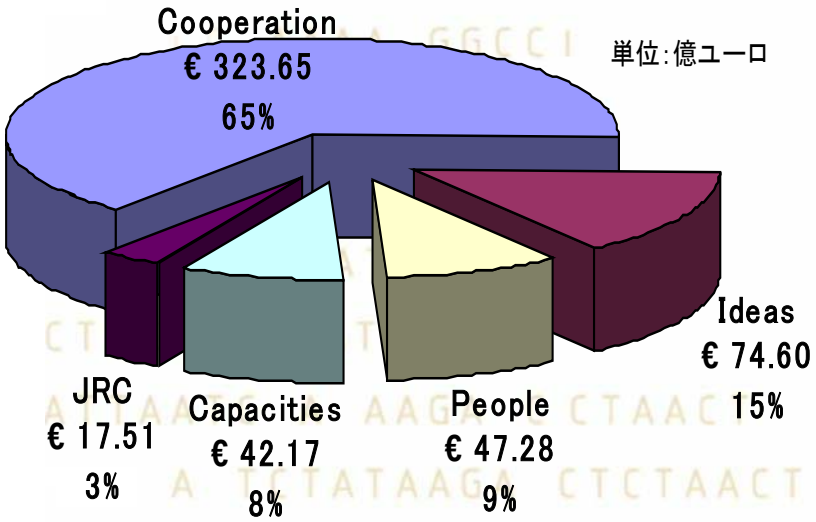
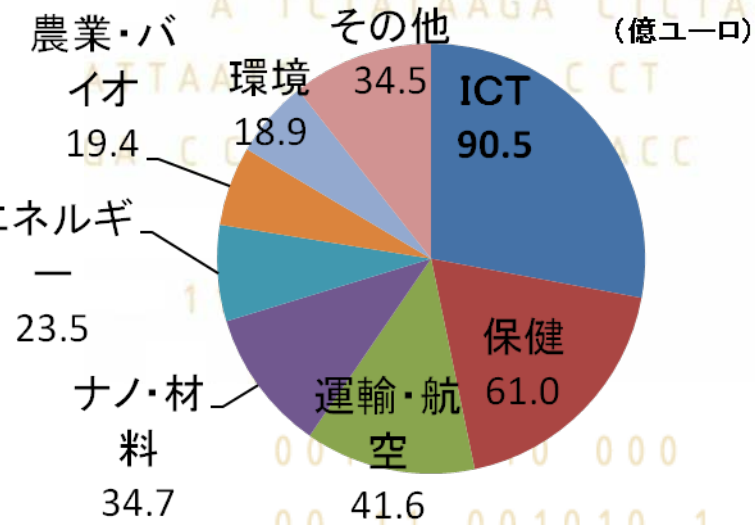
EUの資金の流れ


研究・イノベーション総局等
FP7
（505）
Cooperation
（323）
Capacities
（42）
JRC
（17）
ERC
Ideas
（74）
教育文化総局
People
（47）
地域総局
Cohesion Policy Programme
（864）
インフラ
(57.6%)
起業
（10%）
人材
（16.8%）
ICT
（14.8%）
企業産業総局
環境総局等
CIP
（36）
EU域外の
協力国・途上国の
大学、研究機関、
企業
EU域内の大学、
研究機関、企業
EU域内の学生、
研究者個人
（とそのチーム）
EU域内の
中小企業
EU域内の
地域・自治体

EU FP7の概要

- Framework Programme 7
- 2007年～2013年に実施
- 総予算：505億ユーロ（Euroatom除く）

- **予算配分の概要**
  - **Cooperation：**
    共同研究・JTIへの助成、各国の研究プログラムとの連携、10分野の設定
  - **Ideas：** リスクの高いフロンティア研究を支援
  - **People：** トレーニング、キャリア開発
  - **Capacities：**
    研究インフラ、中小企業研究支援、地域研究振興（クラスター構築）、地域連携の促進、科学の合意形成（社会における科学）、首尾一貫とした研究政策の構築、国際協力
  - **JRC：** Joint Research Centre, EU直轄研究機関、原子力研究など



Cooperation内の配分